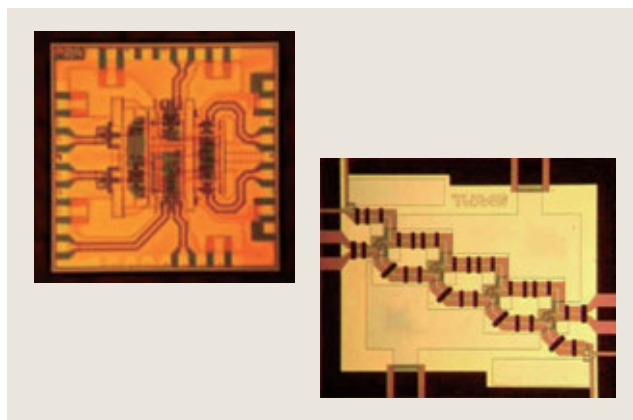


研究開発活動

次世代の先端技術を追求するアンリツにとって、研究開発とその成果である知的財産戦略は非常に重要な役割を担っており、当社の競争優位性の源泉となっています。オリジナル&ハイレベルな技術をもとにキーデバイスなどを開発し、高付加価値なソリューションを創造していきます。



MMIC^(注1)の研究開発用クリーンルーム
(注1) MMIC: Microwave Monolithic Integrated Circuit



製品に搭載しているMMICチップ

研究開発体制

「経営革新2008」の実施により、基盤技術の研究開発や事業部支援を担っていたR&Dセンターと、国内の事業部などに分散していた開発部門を統合しました。リソースを集中させることにより、顧客ニーズに的確かつタイムリーにソリューションを提供できるとともに、開発における投資効率の改善・向上を実現します。

グローバルな研究開発

当社は、無線計測技術、超高速デジタル計測技術、IP解析技術、光計測技術、高周波計測技術、信号モニタリング技術、ネットワークトラフィック測定技術、帯域制御技術、異物検出技術など、さまざまな計測技術を保有しています。これらの保有技術は、日本、アメリカ、ヨーロッパの開発部門にまたがっており、グローバルに製品開発を行いながら、要素技術の活用と新技術の獲得、共有を実践しています。

オリジナル&ハイレベルな技術・ノウハウ

当社は、製品の差別化の源泉となるキーデバイスや基盤技術を独自に保有しており、その技術やノウハウを製品へと展開しています。最近では、高度なデジタル解析技術の製品への応用、カスタムIC^(注2)の各種製品への搭載などを行っています。また、ソフトウェア開発については、外部リソースの有効活用による開発マネジメントを推進しており、ハードウェアとソフトウェアの技術・ノウハウを蓄積することで、競争力のある新製品の開発につなげています。

(注2) カスタムIC: 特定の用途および製品のために、特別に設計・製造される半導体チップ。

知的財産戦略による競争力強化

事業戦略、R&D戦略との整合を図りながら、競争力の強化や収益力の向上を目的に、従業員の知的財産に関する意識の浸透を積極的に推進しています。知的財産部門が製品開発段階から開発部門と密に情報交換することにより、ここ数年、特許保有件数は毎年10%程度増加しています。今後も引き続き、保有している知的財産と蓄積している技術・ノウハウを有効活用しながら、競争力強化と企業価値向上を目指していきます。